

議 事 録

令和4年7月13日

三浦市公共下水道事業における
民間資金等活用検討審議会

- 1 場 所 三浦消防署 4階会議室
- 2 日 時 令和4年7月13日(水) 10時50分から16時40分
- 3 委員の現在数 4名
- 4 出席者氏名 森田 弘昭 委員
安登 利幸 委員
弓削田 克美 委員
星野 拓吉 委員

5 議題

- (1) 応募者プレゼンテーション及びヒアリング
- (2) 民間事業者の選定について
- (3) 評価結果に基づく答申書、選定結果及び審査講評について
- (4) その他

- 6 出席事務局 須山 浩 上下水道部長
本島 慎也 下水道担当部長
古川 篤 下水道課長
小貫 剛 下水道課主査
出口 良 下水道課主査(コンセッション技術担当)
岡田 学 下水道課主任

- 7 オブザーバー 渡邊 貴之 株式会社 建設技術研究所

【10時50分開会】

事務局（下水道課長） 本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。
ます。

本日、司会を務めます、三浦市上下水道部下水道課長の古川です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

それでは開催に先立ち、上下水道部長の須山からごあいさつ申し上げます。

事務局（上下水道部長） 上下水道部の須山です。

本日は、ご多忙の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

過去数回の審議会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、Web開催となっておりますが、今回は無事皆様に三浦市にてお集まりいただくことができました。

今月5日に開催した前回の審議会では、皆様に応募者提案の仮評価や、審査講評等の素案についてご審議いただきました。

今回は、応募者プレゼンテーション及びヒアリングを実施したのち、最終的な評価結果に基づく民間事業者への選定を行い、答申書・選定結果及び審査講評の作成についてご審議いただきます。

そして最後に、森田会長から吉田市長へ民間事業者の選定に係る答申書をお渡しいただく予定としています。

皆様には、専門的な見地からご意見等をいただければと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（下水道課長） 続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。

はじめに、

- ・次第
- ・委員名簿
- ・資料1-1：仮評価結果表
- ・資料3-1：評価結果に基づく答申書（案）
- ・資料3-2：評価結果に基づく選定結果（案）
- ・資料3-3：評価結果に基づく審査講評（案）
- ・第9回審議会 タイムテーブル
- ・審議会終了後の手続き
- ・第8回審議会資料3-1 Bの修正資料

配布している資料に不備がある場合、適宜お申し付けください。

それではただいまより、第9回三浦市公共下水道事業における民間資金等活用検討審議会を開催いたします。

本日の会議の成立についてご報告いたします。

本日は、審議会委員4名全員の出席をいただいておりますので、審議会条例第6条第2項の規定による会議の成立の要件である委員の半数以上の出席を満たしていることをご報告いたします。

それでは審議会条例の規定に基づき、以降の進行を議長である森田会長にお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

森田会長

それでは、議事を進めてまいります。

まず、本日の議事録の署名人ですが、弓削田委員と星野委員にお願いします。

後日、議事録に署名、押印していただきますので、よろしくお願いいたします。

議事に入る前に2点確認させていただきます。

1点目は、オブザーバーの同席についてです。事務局から提案のあった、株式会社建設技術研究所の同席を認めていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

異議がないようなので、同席を認めたいと思います。

《株式会社建設技術研究所 入場》

森田会長

次に、この会議の公開・非公開についてです。

本審議会の議事は原則公開ですが、本日の審議会については、三浦市情報公開条例の第18条2号の規定により、議題(1)～(4)について非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

森田会長

それでは、事務局より連絡事項及び本日の流れの説明がありますので、よろしくお願いいたします。

事務局（下水道課長）

本日は傍聴者がいませんので、このまま議事を進行いたします。

～ 以下、検討議題は非公開 ～

事務局（担当部長）

審議会を再開し、答申書の手交を行います。

司会は、三浦市下水道担当部長の本島が務めます。よろしくお願いいたします。

まず、コンセッション方式の検討や審議会の設置に係る経緯、本日の審議経過の概要について、ご説明します。

三浦市公共下水道事業は、包括委託や公営企業化等、経営改善に向けた様々な取組みを進めながら、着実に事業を推進し、東部処理区における普及率は9割を超えました。

しかし、人口減少の長期化に加え、施設の老朽化、一般会計繰入金に依存した経営、人材不足といった喫緊の課題を有しております。

これらの課題を解決するためには、民間が有する経営視点をさらに取り込み、計画的な点検・更新、及び財政健全化の推進が有効と考え、平成29年2月から「三浦市公共下水道事業における民間資金等活用検討審議会」を開催し、コンセッション方式の導入検討を重ねてきたところです。

審議会においては、令和2年10月に、コンセッション方式（公共施設等運営権方式）の導入が、三浦市公共下水道事業の安定運営に資するとの答申をいただきました。また、令和3年3月には、実施方針の策定及び特定事業の選定についても、答申をいただいております。

その後、本事業の事業者選定手続きを進め、本日の審議会にて、本事業への応募者2者によるプレゼンテーションを行い、民間事業者の選定についてご審議いただいたところです。以上で、概要説明を終わります。

続きまして、本日の応募者プレゼンテーションを踏まえた評価結果の概要について、ご説明します。

本事業には2者から応募があり、審査の結果、「みうらラクアパートナーグループ（Aグループ）」が152.50点で第1位、「はまゆう水再生みうらグループ（Bグループ）」が42.50点で第2位となりました。

第1位となった「みうらラクアパートナーグループ（Aグループ）」の提案内容については、全体として高い評価を得ており、特に以下の点を高く評価しております。

- ① 事業計画に関して、市が掲げる基本運営方針を実現するにあたっての重要事項に対する理解度が十分であり、当該方針を達成するための解決策が細部にわたり具体的に示されている。
- ② 地域貢献に関して、改築工事の地元企業への発注予定額が明確に提案されているとともに、地元企業への研修プログラムや UJI ターン促進などの具体的な提案がされている。
- ③ スtockマネジメントに関して、施設状態のデジタル情報に基づく最適な管理水準の設定や健全度予測の精度向上が提案されているとともに、現有施設の有効利用等によるダウンサイジングの具体的な提案がされている。
- ④ 処理場・ポンプ場及び管路施設の改築に関して、脱炭素や LCC 最小化等の重要事項の達成に向けた具体的な取組みが提案されている。
- ⑤ 附帯提案事業に関して、本市が求めている費用縮減、収益発生、環境負荷低減の全ての項目を網羅したうえで、実現性の高い具体的な提案がなされている。
- ⑥ 市の想定と同程度の改築費削減額を創出したうえで、運営権対価を創出しており、市財政負担の軽減に資する提案となっている。

以上で、評価結果の概要説明を終わります。

続きまして、森田会長より、吉田市長へ答申書の手交を行います。森田会長、吉田市長はご起立願います。

森田会長

三浦市公共下水道事業における民間資金等活用検討審議会会長の森田です。

令和3年2月10日付けで吉田市長より諮問のあった「三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業に係る民間事業者の選定」について、答申します。

本日の審議の結果、優先交渉権者として、みうらラクアパートナーグループ、次点交渉権者として、はまゆう水再生みうらグループを選定しましたので、審議会として答申書を作成し、吉田市長へお渡しします。

事務局（担当部長）

報道の皆様は、森田会長、吉田市長の答申書手交の写眞撮影をお願いします。

《写眞撮影》

事務局（担当部長）

これから、森田会長、吉田市長からごあいさつをいただいたのち、審議委員の皆様を交えて写真撮影を行い、審議会を終了したいと思います。

まず、森田会長よりごあいさつをお願いします。

森田会長

一言ごあいさつ申し上げます。

この審議会は、ご案内のとおり、今から約5年半前にスタートしました。この規模の下水道事業については、非常に大きな困難に直面しているということで、全国の皆様から非常に注目度の高い事業だったと思っております。

ただ、実際に実施するにあたっては、色々と小さい事業体ということもあり、情報が足りない、あるいは判断に迷うというようなことがあり、これまで非常に慎重な審議をしてきたと思っております。

時間をかけた分だけ、非常によい結果が出たと思っておりますので、三浦市のコンセッション方式が全国の例となって、三浦モデルとして全国に普及し、全国の下水道事業が安定的に運営できることを期待して、簡単ではございますが、私の挨拶とします。皆さん、ご苦労様でした。

事務局（担当部長）

ありがとうございます。

続きまして、三浦市の吉田市長よりごあいさつ申し上げます。

吉田市長

三浦市長の吉田でございます。

今、森田会長からお話がありましたように、平成29年から、もう5年以上にわたってこの審議会を開催していただいております。

森田会長がおっしゃるように、小さな自治体が安定した下水道事業を運営するために何がいいのかということを非常に慎重に検討していただいております。

森田会長をはじめ、安登委員や弓削田委員に、ひとかたならぬ力をいただいたこと、改めましてお礼申し上げたいと思います。

われわれ自治体が抱えている課題というのは多々ございますが、民間の力を介しながら、いかに市民サービスを向上できるか、コストが削減できるか、こういった視点を非常に重要な検討事項としております。

そして何よりも、この審議会の先生方に、三浦市のことを

親身になってご検討いただいたということが非常に大きな力であったと思っています。

また、国土交通省からも大変、大きな支援をいただきました。今回、事業者が決まりましたが、これから契約行為にスムーズに移せるよう、担当部としてはまだまだ一生懸命やっていくことになろうかと思えます。

これは、全国に先駆けた例に成りうると森田会長からも言っていたいております。

三浦市として注目される事業ということで、担当部は、今までも市役所としては非常に高度な仕事をしてきていますが、引き続き頑張ってもらいたいと思います。

本当にいろいろとお世話になりました。ありがとうございました。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

事務局（担当部長）

ありがとうございます。

最後に、本日までご審議いただいた審議委員の皆様と吉田市長の写真撮影をお願いします。

《写真撮影》

事務局（担当部長）

これをもちまして、第9回三浦市公共下水道事業における民間資金等活用検討審議会を閉会とさせていただきます。

本日は、どうもありがとうございました。

【16時40分閉会】